

2021年国際北陸工芸サミットin石川の概要

テーマ：『生活の中で活かす工芸』

- **工芸は、生活者の手に渡ってこそ、その価値が輝く**ということを、
全ての工芸関係者が共有し、**「工芸のある暮らし」を広く発信**

- 『生活の中で活かす工芸』をテーマに、文化振興だけでなく、産業振興にも繋げるためのサミットと
位置づけ、本県の伝統工芸の魅力発信とともに、販路開拓・販売促進の場を創出するもの。

〈富山県〉テーマ：『THIS IS 工芸 -伝える。創る。-』
会期：平成29年11月16日(木)～
平成30年1月8日(月)【54日間】
〈福井県〉テーマ：なし
会期：令和元年9月21日(土)～
10月27日(日)【37日間】

サミットの4つの柱

1. シンポジウム

県内工芸産地が伝統工芸の
新たな魅力に気付く機会の提供

基調講演：隈 研吾 氏
パネルディスカッション：
中川 政七 氏ほか

2. 国内外の
作品を集めた展示

- ①ハンガリー・ブダペスト国立
工芸美術館コレクション展
②北陸三県名品展

2021年国際北陸
工芸サミットin石川

8月中旬～12月上旬

3. 「食と伝統工芸の
コラボ」による石川ならではの
食文化魅力発信

- ①食文化魅力発信
②料理盛り付け教室

4. 伝統的工芸品の
販路開拓・販売促進

- ①バイヤー商談会 (BtoB)
②本県伝統的工芸品の
展示販売会(BtoC)

<スケジュール>

	2021 (令和3) 年					
	8月中旬	9月	10月	11月上旬	11月	12月
シンポジウム	● 開催場所：音楽堂邦楽ホール					
国内外の作品を集めた展示 ①コレクション展 ②北陸三県名品展 ○青柳館長特別講演	● ①ハンガリー・ブダペスト国立 工芸美術館コレクション展 開催期間：8/15(日)～9/12(日) 開催場所：県立美術館		● 北陸三県名品展開会式 青柳館長特別講演 場 所：県立美術館	● ②北陸三県名品展 開催期間：11/7(日)～12/5(日) 開催場所：県立美術館		
「食と伝統工芸のコラボ」による 石川ならではの食文化魅力発信 ①食文化魅力発信 ②料理盛り付け教室	● コレクション展開会式 場 所：県立美術館		● 開催日：11月中 場 所：金沢勤労者プラザ他	● ②料理盛り 付け教室		
伝統的工芸品の販路開拓・ 販売促進 ①バイヤー商談会 ②本県伝統的工芸品の展示販売会		● ②本県伝統的工芸品の展示販売会 開催期間：10月中旬 開催場所：しいのき緑地・迎賓館、国立工芸館前	● ①食文化魅力発信	● ①バイヤー商談会 開催期間：11月上旬 開催場所：金沢市内ホテル		
				● 期間中に実施		

1. シンポジウム

- 日 時：8月中旬
- 場 所：県立音楽堂邦楽ホール

実地開催に加え、**オンライン配信も実施**

- 対 象：一般県民、県内伝統工芸36産地関係者、マスメディア

- 内 容：

- ① 基調講演

講演テーマ：『（仮）生活の中で活かす工芸－建築における工芸の役割－』

講師：隈 研吾（建築家）

- ② パネルディスカッション

テーマ：『（仮）生活の中で活かす工芸－国内外における日本の工芸の魅力－』

【モデレーター（司会）】

【パネリスト】

◎ 中川 政七（中川政七商店会長（十三代社長））

◎ 他、3名【調整中】

2. 国内外の作品を集めた展示

○ハンガリー・ブダペスト国立工芸美術館コレクション展

- 日 時：8月15日（日）～9月12日（日）【4週間】

➤ 令和2年3月から令和3年12月にかけて、巡回展として実施予定

福島県立美術館（リニューアル記念） 令和2年3月24日（火）～4月18日（土）【26日間】

山口県立萩美術館・浦上記念館 令和3年4月24日（土）～6月20日（日）【58日間】

石川県立美術館 令和3年8月15日（日）～9月12日（日）（予定）

パナソニック汐留美術館 令和3年10月9日（土）～12月9日（日）（予定）

- 場 所：県立美術館 第7～第9展示室（第7展示室：420m² 第8展示室：411m² 第9展示室：333m² 計1,164m²）

- 展示作品：日本の工芸品から影響を受けた**欧米の工芸品約170点**のコレクション

- 本展示会の特徴：

ブダペスト国立工芸美術館は**世界でも数少ない国立工芸館**であり、金沢に移転する**日本の国立工芸館と同一エリアで“共演”する極めて貴重な機会**

【他の国立工芸館】（県立美術館調べ）
 ◎ 美術工芸博物館（ドイツ・ハンブルク）
 収蔵物：工芸品、古楽器、絵画など
 ◎ 上海工芸美術博物館（中国・上海）
 収蔵物：象牙、ヒスイ彫刻など

2. 国内外の作品を集めた展示

○北陸三県名品展 (県立美術館企画展示事業)

展示会は、委託事業対象外

- 日 時：11月7日（日）～12月5日（日）【4週間】
- 場 所：県立美術館 第7～第9展示室（第7展示室:420m² 第8展示室:411m² 第9展示室:333m² 計1,164m²）
- 出展作品：**北陸三県の重要無形文化財保持者（人間国宝）や日本芸術院会員の作品約100点**
→内訳は石川県7割、富山県2割、福井県1割程度を想定

委託事業

◎会期中に、**青柳県立美術館長による特別講演及びパネルディスカッションを実施（オンライン配信も実施）**

→パネリスト:青柳正規 他、調整中

- 日 時：11月上旬
- 場 所：県立美術館ホール
- 時 間：特別講演（30分程度）
パネルディスカッション（60分程度） 計90分程度

■ 主な展示作家：

(※) 存命の作家(R3.6.1時点)

石川県	日本芸術院 会員	漆芸	松田権六	金工	蓮田修吾郎	陶芸	浅蔵五十吉
		陶芸	大樋陶冶斎(※)	漆芸	三谷吾一	陶芸	武腰敏昭(※)
	人間国宝	蒔絵	松田権六	銅鑪	初代魚住為楽	友禅	木村雨山
		沈金	前 大峰	木工芸	氷見晃堂	髹漆	赤地友哉
		日本刀	隅谷正峯	蒔絵	大場松魚	蒔絵	寺井直次
		截金	西出大三	友禅	羽田登喜男	木工芸	川北良造(※)
		髹漆	塩多慶四郎	彩釉陶器	三代徳田八十吉	沈金	前 史雄(※)
		釉裏金彩	吉田美統(※)	銅鑪	三代魚住為楽(※)	彫金	中川 衛(※)
		髹漆	小森邦衛(※)	友禅	二塚長生(※)	蒔絵	中野孝一(※)
木工芸	灰外達夫	沈金	山岸一男(※)				
富山県	日本芸術院 会員	漆芸	山崎覚太郎				
	人間国宝	鉄釉陶器	石黒宗麿	長板中形	松原定吉	彫金	金森映井智
		鑄金	大澤光民(※)				
福井県	人間国宝	越前奉書	八代岩野市兵衛	越前奉書	九代岩野市兵衛(※)		

- ◎石川県：日本芸術院会員 6作家 人間国宝23作家 **計29作家**
- ◎富山県：日本芸術院会員 1作家 人間国宝4作家 **計 5作家**
- ◎福井県： 人間国宝2作家 **計 2作家** **合計36作家** (想定)

■ 本展示会の特徴

北陸三県の重要無形文化財保持者（人間国宝）、日本芸術院会員の作品が一堂に展示される

北陸初の展示会

→約15年前に県立美術館で開催した北陸三県の人間国宝展には日本芸術院会員の作品は含まれず。

3. 「食と伝統工芸のコラボ」による石川ならではの食文化魅力発信（11月開催）

○食文化魅力発信事業

コロナ収束後を見据え、本県の食文化と伝統工芸の魅力を伝える動画を制作し、国内外に情報発信。

■内 容：石川ならではの食材、加賀料理、伝統工芸品の制作工程などを動画に収め、料理と器の魅力を伝えることができる映像を制作。

訪日外国人は、モノの歴史的、文化的背景を理解したいという欲求が高い人が多い(日本政府観光局)

制作した動画は、国内外（石川県に関心がある日本人、日本に関心がある外国人）向けに、SNS（Facebook、Instagram）等を活用して、国内外に情報発信し、「ほっと石川旅ネットISHIKAWA TRAVEL(9か国語)」サイトに誘導。

【制作する動画のイメージ】

伝統工芸品の制作工程のイメージ



加賀料理の調理工程のイメージ



伝統工芸品の器に盛り付けた加賀料理のイメージ



3. 「食と伝統工芸のコラボ」による石川ならではの食文化魅力発信

○料理盛り付け教室（一般向け）

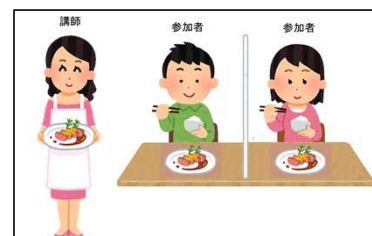
コロナ感染状況に応じ、オンライン開催を検討

オンライン開催の場合は、講師による「伝統工芸品の使い方講座」の動画を配信

【概要】

全国的に著名な料理研究家等が主宰する、**本県伝統工芸の器を使った料理やスイーツの盛り付け教室**
伝統工芸の器が料理を引き立て、生活を豊かにすることを体感してもらう機会の提供

- 内 容：①講師による料理等の盛り付け実演
②参加者による盛り付け（講師の指導を受けながら、参加者が料理等を盛り付け）
③ランチ・ティータイム（参加者が自身で盛り付けた料理やスイーツを実食）
※1人ずつ、アクリル板を設置した席で試食
※食後は使った皿の洗い方を説明し、各参加者が持ち帰り
- 対 象：一般県民（各回事前申込制）
- 参 加 費：器代や料理・スイーツの費用を加味して設定



- テーマ：家庭料理を伝統工芸の器で楽しむ
- 日時：11月中旬～下旬
- 場所：金沢勤労者プラザ
- 参加人数：各回15名×**6回**＝90名
- 講 師：松田 美智子 氏

- テーマ：スイーツを伝統工芸の器で楽しむ
- 日時：11月下旬
- 場所：スーパースイーツ製菓専門学校
- 参加人数：各回25名×**2回**＝50名
- 講 師：辻口 博啓 氏

4. 伝統的工芸品の販路開拓・販売促進

① バイヤー商談会 (BtoB)

- 開催期間：11月上旬
- 場 所：金沢市内ホテル
- 対 象：県内伝統工芸36産地関係者
- 内 容：
 - ◇本県伝統的工芸品に関心を持つバイヤーの招聘による、大規模な商談会の実施
 - 出展伝統産業事業者:50社程度(想定)
 - 来場バイヤー数:50社程度(想定)
 - ◇伝統産業事業者のブースをバイヤーが回る展示会方式で実施し、バイヤーとの出会いの場を提供



実地開催イメージ

コロナ感染状況に応じ、オンライン開催を検討

- 都内に伝産事業者の商品を展示する会場を設け、バイヤーに実際の商品を見てもらいながら、石川会場の伝産事業者とオンラインで商談を実施
- バイヤーと伝産事業者は、事前にコーディネーターを介してマッチングし、商談スケジュールを設定した上で開催

場 所	金沢市内の会場
	東京都内の会場

② 本県伝統的工芸品の展示販売会 (BtoC)

本県伝統的工芸品の販売促進を図るため、観光客や一般県民を対象とした展示販売会を開催

- 開催期間：10月中旬【3日間】
- 場 所：しいのき緑地・しいのき迎賓館、本多の森公園（国立工芸館前）、いしかわ生活工芸ミュージアム（検討中）
- 対 象：観光客、一般県民、県内伝統工芸36産地関係者
- 内 容：
 - ①県内伝統的工芸品の展示販売
 - ②伝統工芸士や職人による実演・ワークショップの実施
 - ③抹茶を点てる茶道体験、和菓子製作体験（予約制：1回15～20人程度）と併せて、関連する伝統的工芸品（抹茶碗、棗、菓子器等）を販売



平成24年度 伝統的工芸品月間国民会議全国大会の様子
<会場:しいのき緑地・しいのき迎賓館>



令和元年度 国立工芸館移転機運醸成イベントの様子
<会場:国立工芸館前>